

## 研究協力をお願い

昭和大学医学部衛生学公衆衛生学講座衛生学部門では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

臭素化合物曝露における確定診断と中毒事例に関する研究

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2002年4月～2020年3月に、臭化メチル製造工場に従事されていて臭化メチルの企業検診を受けられた方およびブロムワレリル尿素含有製剤の過剰服用の疑いで受診され病院より当研究室へ尿または血液検査のためにサンプルを提供された方

### 2. 研究目的・方法

当教室では、2002年より15年間にわたり、土壌や輸入木材などの燻蒸剤である臭化メチルの製造工場の企業検診を行なう一方で、産業中毒の予防・確定診断・メカニズム解明などのため、疫学的・動物実験的に研究を進めてまいりました。特に、国内において中毒事故が発生した場合は、主要な相談窓口となり鑑別診断を実施してきました。

臭化メチルは、1992年モントリオール議定書にてオゾン層破壊化学物質に指定され、現在では植物検疫処理以外の使用はなくなり中毒事例も減少してきましたが、近年、臭素含有製剤の過剰服用による中毒が散見され、その確定診断を全国から受ける機会が増えております。

そのような背景から本研究ではより鋭敏な臭素イオン濃度の分析方法の開発を目的とし、曝露量の推定や中毒診断に役立てることを目的としております。さらに、これらの事例を公表し広く認識されることにより、今まで以上に診断や治療もスムーズに進めることが可能となります。

#### 研究期間

「医学部 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学医学部長の研究実施許可を得てから2020年3月まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：尿、血液、  
曝露情報など

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学衛生学公衆衛生学講座衛生学部門 氏名：山野 優子

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8137